

【競技上の確認】

1. 競技規則

- (1) 平成30年度・公益財団法人日本バレーボール協会制定6人制競技規則による。
- (2) コート・ワイピングは、コート内の競技者が行うことを原則とします。試合中、競技者は小さなタオルを身につけて、汗でぬれた場合はコート内の競技者で拭いてください。ただし、審判の指示により、ベンチの競技者モップを使用することがあります。

2. ユニフォーム

- (1) ユニフォームは配色やデザインが統一されていなければいけません。（リベロプレーヤーを除く）
- (2) リベロプレーヤーは、他の競技者とははっきりと区別ができる対照的な色のユニフォームを着用してください。（左右対称・上下対称ではなく、はっきりと区別ができること）
- (3) 競技者番号は、シャツ胸部（中央）高さ15cm以上、シャツ背部（中央）高さ20cm以上、いずれも字幅は2cm以上で、使用する番号は、1～20番が望ましい。
また、チームキャプテンは、胸部のナンバー下に長さ8cm、幅2cmのマークを、ユニフォームと異なった色で付けなければいけません。（テーピングなど剥がれやすいものはできるだけ不可）
- (4) アンダーウェアはユニフォームの袖や裾、首等からはみ出してはいけません。ただし、プレーの動作によって、ユニフォームの下から見えてしまうことは、故意に見せるものでない限り、制限されません。

3. ベンチスタッフの服装

- (1) チームスタッフの服装は、チームで統一された服装にしてください。Tシャツ、短パン、ハーフパンツでのベンチ入りは許可しません。
- (2) 部長・監督・コーチ・マネージャー・トレーナー章は、必ず左胸部に着用してください。
- (3) 指導者による主審等の審判時の服装についても、ベンチでの服装に準じます。

4. 不法な行為について

- (1) 同一人による同一セットまたは同一試合での繰り返しは、累進的な制裁を受ける。
 - ① 「非スポーツマン的行為」および「不作法な行為」については、そのプレーヤーおよびチーム役員個人に対し、試合全体を通して罰則が与えられる。
原則として次の手順を踏むが、行為の内容によっては最初からレッドカードも有り得る。
(例) 警告 ステージ1：口頭での警告 警告 ステージ2：イエローカードでの警告
ペナルティ：レッドカードを示し、相手に1点を与える。
退場：イエロー・レッドカードを同時に示す（そのセット終了までペナルティ・エリアに座る）
失格：イエロー、レッドカードを別々に示す（競技コントロールエリアから退去する）
 - ② 「攻撃的行為」については、1回目で失格とする。

5. その他

日本バレーボール協会のコンプライアンス規定に従い、暴力、体罰、審判への苦情などなきよう、各自、各チームで話し合い、御協力頂きます様宜しく御願いたします。

日本バレーボール協会HP・JVAコンプライアンス →

